

健康づくり支援薬局(仮称)の要件 について(参考資料)

厚生労働省医薬食品局総務課

健康づくり支援薬局(仮称)の要件(案)について

1. 医薬品の供給体制について
2. 地域における連携体制の構築について
3. 健康相談・健康づくり支援について
4. その他

要指導医薬品、一般用医薬品の取扱い

- 薬局において要指導医薬品等が販売されていないと、薬局利用者は要指導医薬品等について薬局に相談しづらい。

そこで、「薬局における健康情報提供状況等に関する実態調査」を用いて適切な要指導医薬品等の品目数の分析を行った。

薬局における健康情報提供状況等に関する実態調査の概要

- 調査対象：公益社団法人 日本薬剤師会の認定するセルフメディケーション・サポート薬局（969薬局）及び保険調剤・サポート薬局（1,023薬局）の計1,992薬局を母集団として、計1,000薬局（セルフメディケーション・サポート薬局500薬局、保険薬局500薬局）を無作為抽出して調査対象とした。

- 調査方法：対象薬局の開設者又は管理薬剤師による自記式アンケート調査
郵送発送・FAX発送

- 調査基準日：平成26年7月1日（火）

- 実施時期：平成26年7月31日（木）～9月3日（水）

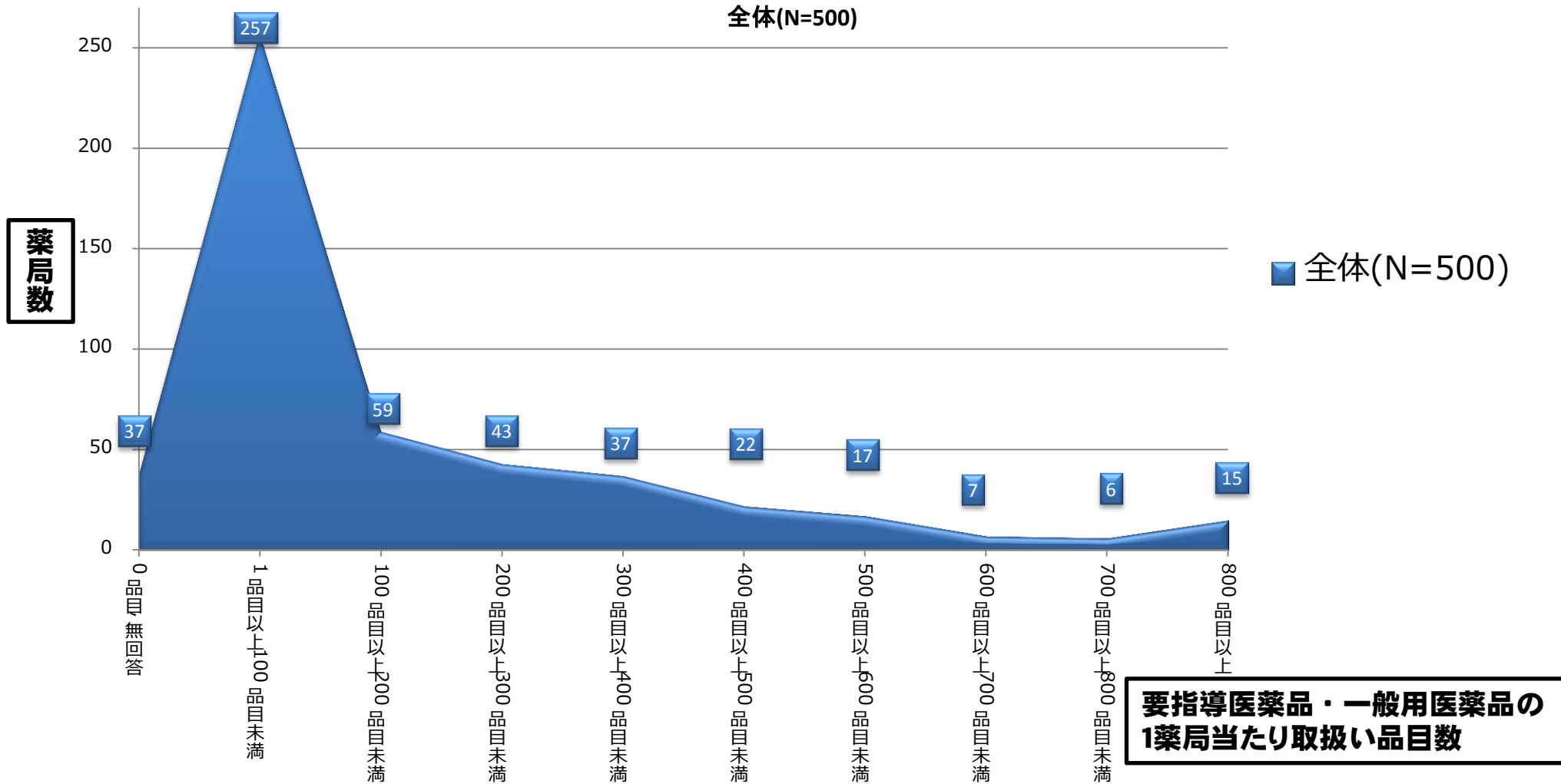
- 回収状況

セルフメディケーションサポート薬局	回収率44.6% (223/500)
保険調剤サポート薬局	回収率55.4% (277/500)
合計	回収率50.0% (500/1,000)

要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数 と該当薬局数の関係

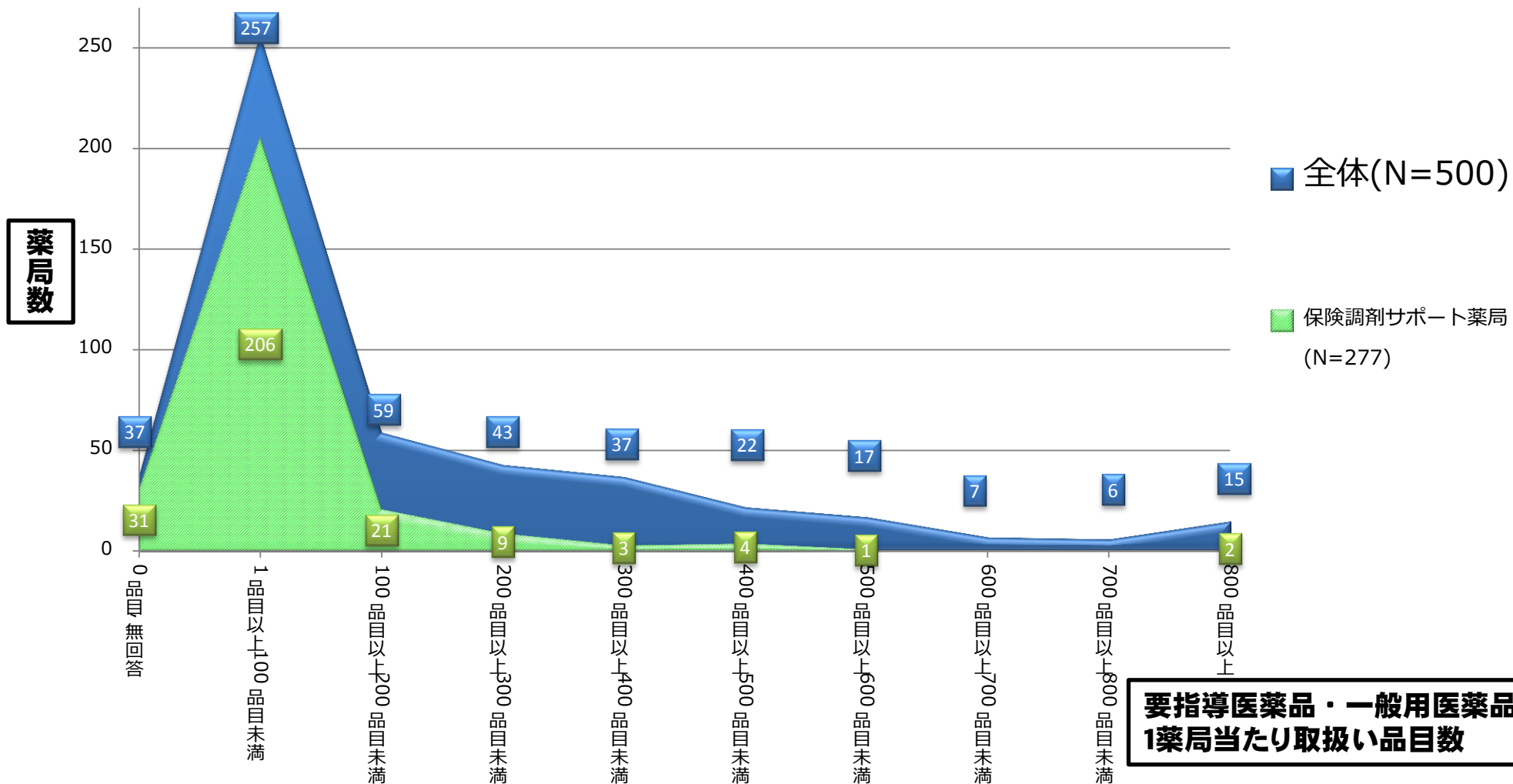
		セルフメディケーション サポート薬局	保険調剤 サポート薬局	総計			全体のうちの割合	セルフメディケーショ ン・サポート薬局の 中での割合
薬局数	0品目 (無回答含む)	6	31	37	OTCを取り扱っている薬局全体の内の割合	0品目以上	100%	100%
	1品目以上 100品目未満	51	206	257		1品目以上	93%	97%
	100品目以上 200品目未満	38	21	59		100品目以上	41%	74%
	200品目以上 300品目未満	34	9	43		200品目以上	29%	57%
	300品目以上 400品目未満	34	3	37		300品目以上	21%	42%
	400品目以上 500品目未満	18	4	22		400品目以上	13%	27%
	500品目以上 600品目未満	16	1	17		500品目以上	9%	19%
	600品目以上 700品目未満	7	0	7		600品目以上	6%	12%
	700品目以上 800品目未満	6	0	6		700品目以上	4%	9%
	800品目以上	13	2	15		800品目以上	3%	6%

要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数 と全体での薬局数の関係



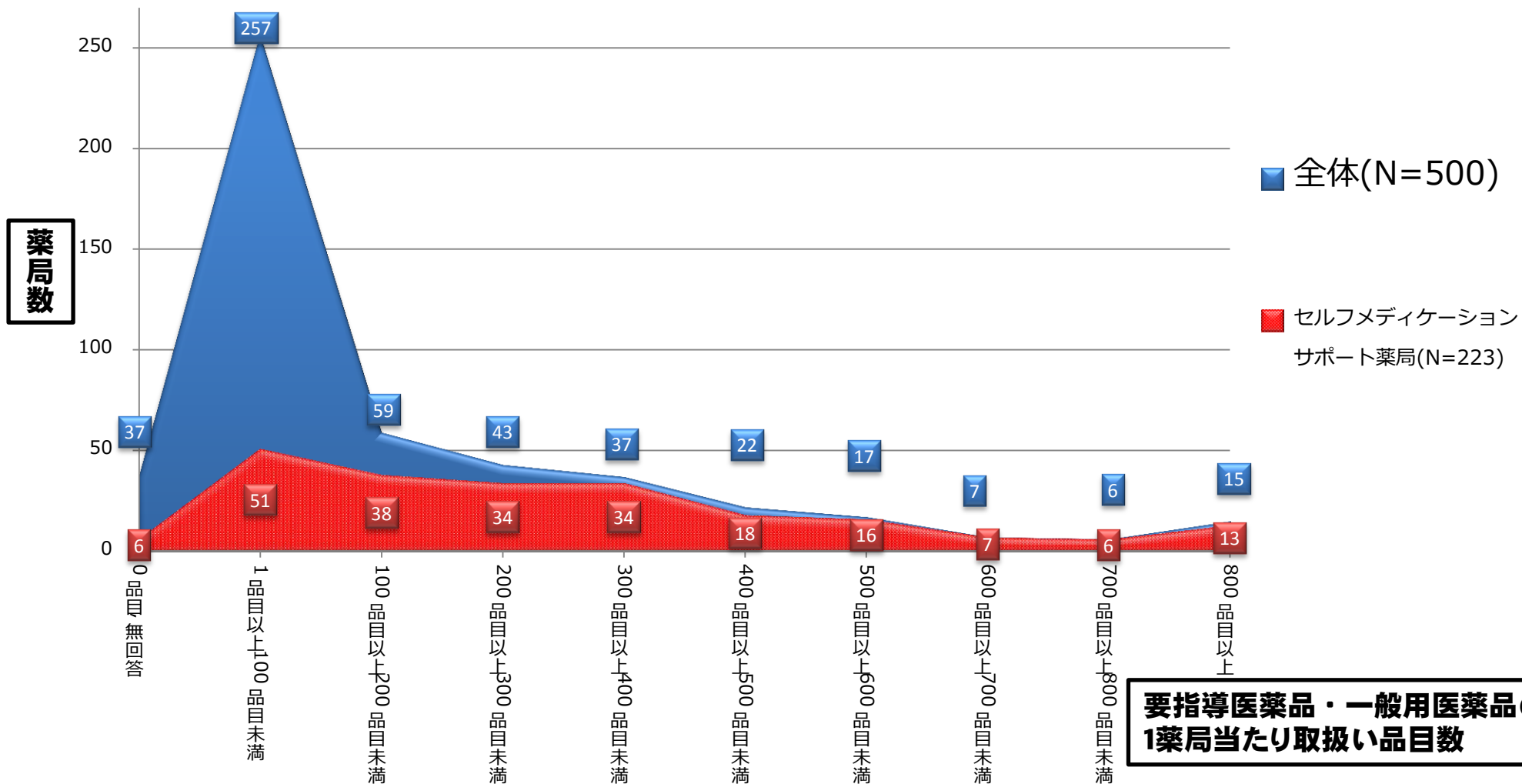
◆ 全体としては、要指導医薬品・一般用医薬品の平均値は173品目、中央値72品目である。

要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数 と保険調剤サポート薬局数の関係



◆ 保険調剤サポート薬局では、要指導医薬品・一般用医薬品の平均値は64品目、中央値28品目である。

要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数 とセルフメディケーション・サポート薬局数の関係

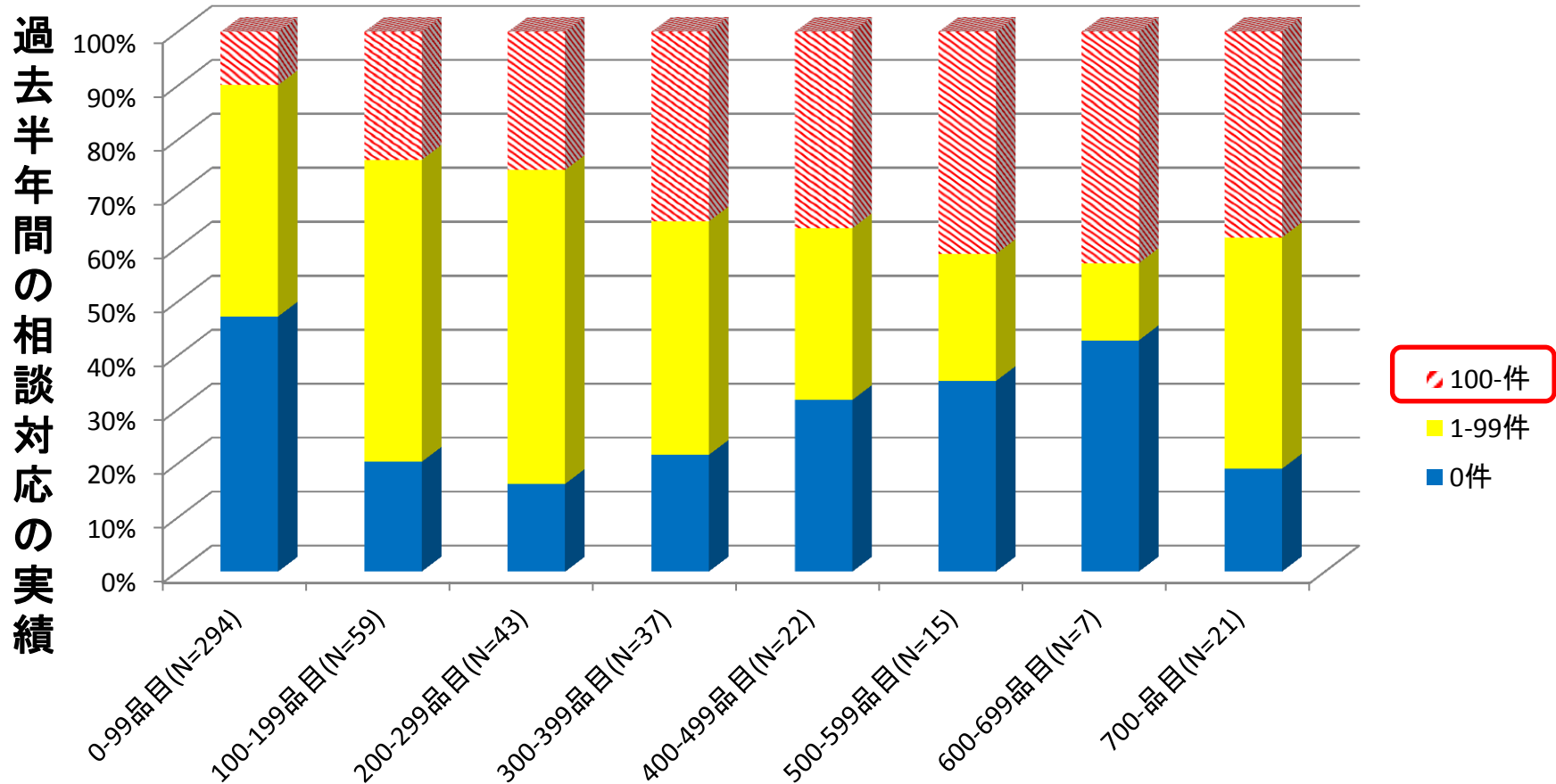


◆ セルフメディケーション・サポート薬局では、要指導医薬品・一般用医薬品の平均値は300品目、中央値235品目である。

要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数と健康相談に係る対応件数の相関関係について

- 要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数と健康相談に係る対応件数に相関関係があるかどうかクロス集計を行った。
- 要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数は100品目刻み（1品目以上、100品目以上、200品目以上、、、800品目以上）で集計した。
- 健康相談に係る対応としては、
 - ・過去半年間の相談対応の実績
 - ・過去半年間の受診勧奨実績
 - ・過去半年間のお他機関との連携実績を集計した。

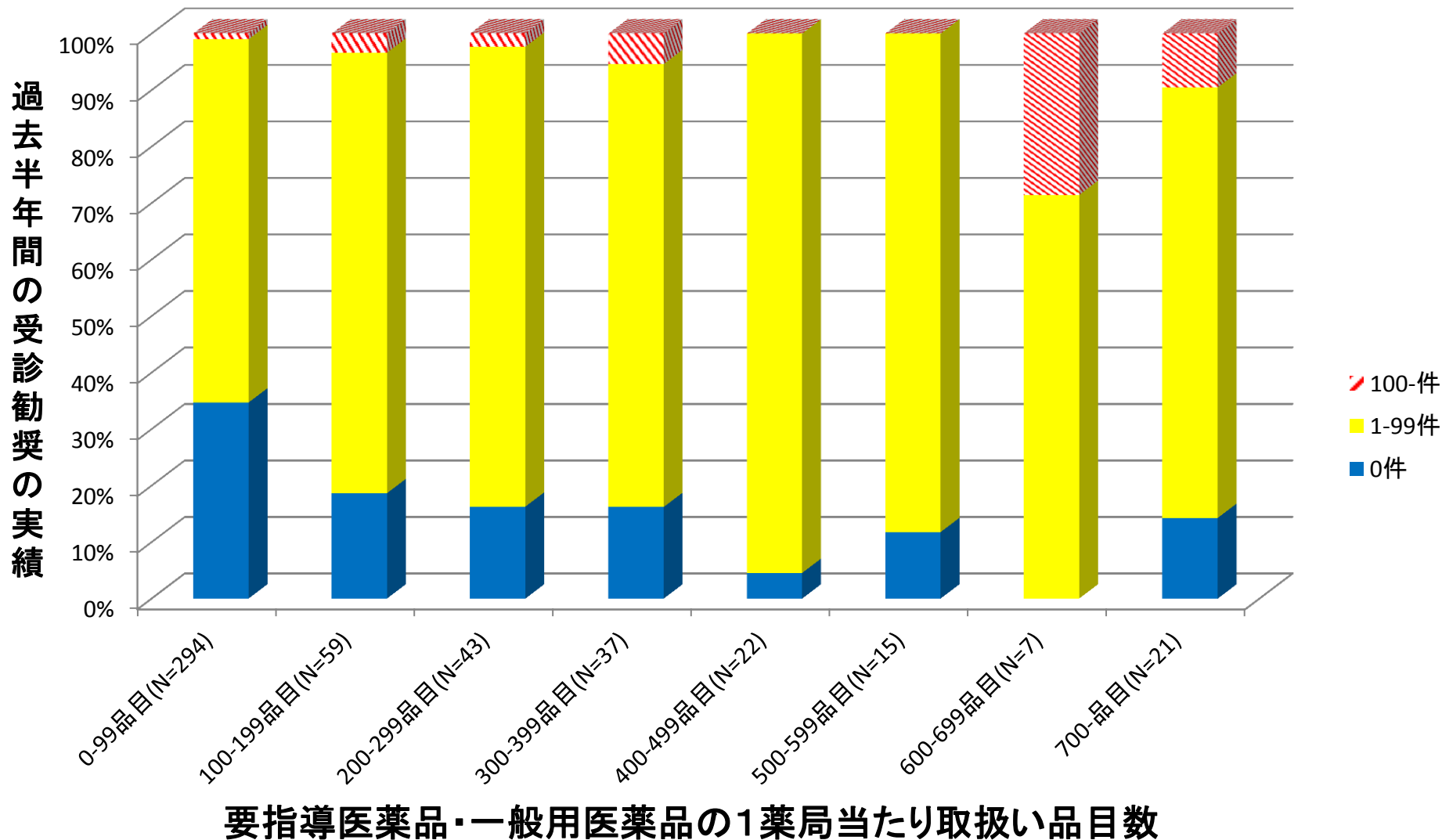
要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数 と過去半年間の相談対応の実績の関係



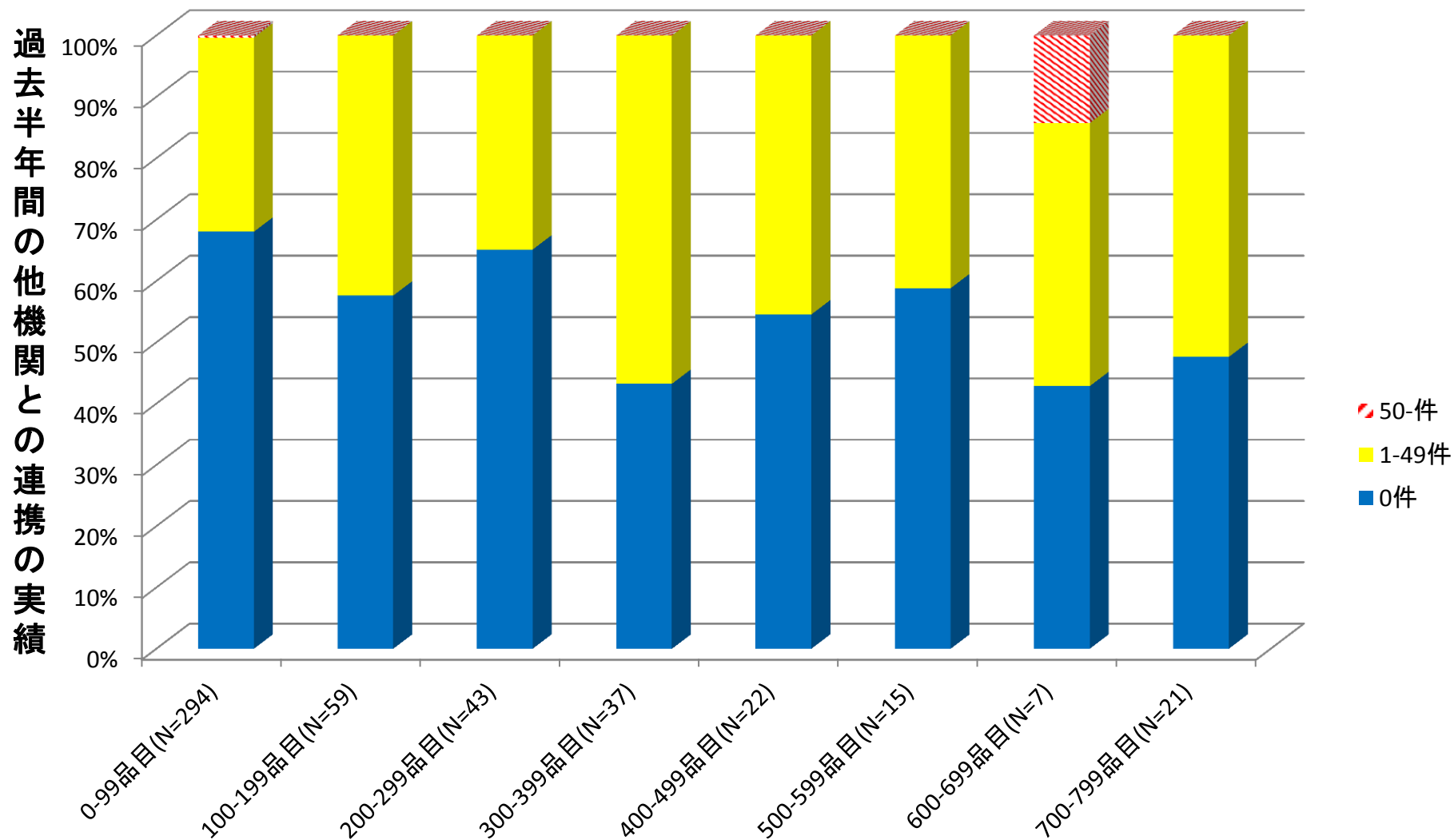
要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数

- 過去半年間の相談実績について見ると、要指導医薬品・一般用医薬品取り扱い品目数が多い薬局ほど、相談件数が増加する傾向にある。

要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数と過去半年間の受診勧奨の実績の関係



要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数と過去半年間の他機関との連携の実績の関係



要指導医薬品・一般用医薬品の1薬局当たり取扱い品目数

健康づくり支援薬局(仮称)の要件(案)について

1. 医薬品の供給体制について
2. 地域における連携体制の構築について
3. 健康相談・健康づくり支援について
4. その他

多職種との円滑な連携の一例～多職種が参加する研修会・コミュニティ～

- 薬剤師は薬剤師同士の勉強会には参加するが、多職種が参加する研修会には参加しない傾向にある。多職種が参加する研修会・コミュニティにも参加することで多職種との連携が可能である。

三方よし研究会



※「三方よし研究会」は、平成19年10月、東近江圏域での脳卒中クリティカルパスの話し合いから始まった東近江地域医療連携ネットワーク。参加職種 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、リハビリセラピスト、管理栄養士、MSW、地域連携室スタッフ、ケアマネジャー、介護福祉士、保健師、消防士、首長、議員、マスコミ、写真家、僧侶 等々。

こみけん



※「こみけん」は、介護保険がスタートした平成12年4月に地元の有志8人の発起人によって発足。発起人は医師、薬剤師、在宅介護相談員、保健師、介護福祉関連専門学校講師、民間の介護事業者、工務店経営者、行政関係者の多職種。

健康づくり支援薬局(仮称)の要件(案)について

1. 医薬品の供給体制について
2. 地域における連携体制の構築について
3. 健康相談・健康づくり支援について
4. その他

健康づくり支援の具体的な取組の一例 (健康相談イベントの実施)

- 健康づくり支援の具体的な取組の一例として、定期的に相談日等のイベントを開催することが重要である。

イベントの一例

無料相談健康デー

平成27年4月1日(水)

9:00~17:00



【内容】

- ・ 薬剤師によるお薬相談、健康相談
- ・ 栄養士による栄養相談etc.



ご家族やお友達と気軽にお越しください
お薬を飲んでいる方はお薬手帳をご持参ください

●●薬局

〒●●●-●●●●

●●県●●●市●●●●

開局時間 月から土 9時~17時45分

日・祝日休業

電話：●●-●●●●-●●●●

FAX：●●●●-●●●●-●●●● 駐車場あります。



【画像】日本薬剤師会から提供

健康づくり支援薬局(仮称)の要件(案)について

1. 医薬品の供給体制について
2. 地域における連携体制の構築について
3. 健康相談・健康づくり支援について
4. その他

衛生材料等の取扱い

- 衛生材料、介護用品の取扱いを要件化することの検討材料として、「薬局における健康情報提供状況等に関する実態調査」を用いて衛生材料等の品目数の分析を行った。

衛生材料

製品群	品目
救急手当用品	救急箱、絆創膏、防水フィルム(きず用)、脱脂綿、清浄綿、ガーゼ、滅菌ガーゼ、包帯通常タイプ、包帯伸縮タイプ、包帯粘着タイプ、ネット包帯、リント布、三角布、T字帯、眼帯、指サック
保護・固定健康用具	テーピングテープ(キネシオテープ)、サージカルテープ(ホワイトテープ)、サポーター
ヘルスケア用品	マスク、ウイルス・花粉対策マスク、耳栓、水差し、綿棒、爪切り・毛抜き、ピンセット、耳かき、基礎体温表、生理用ナプキン、生理用タンポン、おりものシート、
服薬支援用品	オブラート、お薬服用ゼリー、カプセル
避妊・性交関連用品	避妊具(コンドーム等)
熱さまし用品	アイス枕、氷嚢、冷却シート、瞬間冷却スプレー
コンタクトレンズケア用品	コンタクトレンズ洗浄・保存・消毒液

介護用品

製品群	品目
大人用オムツ	大人用オムツ(フラットタイプ)、大人用オムツ(パンツタイプ)、大人用失禁パット、大人用失禁パンツ
介護用品	介護用清浄用品(清拭剤・ウェットナプキン、ボディソープ・シャンプー等)、介護用消臭・脱臭用品(防臭剤、除菌剤、オムツ取替え手袋等)、介護用食事用品(スプーン・フォーク、コップホルダー、水飲み、エプロン等)、褥創予防具(クッションマット、パット等)、介護用肌着・寝間着類
介護用品 ※カタログによる提供でも可	排泄関連用具(ポータブルトイレ、トイレ用手すり等)、入浴関連用具(すべり止めマット、シャワーチェア、浴槽台、浴槽用手すり等)、療養ベッド、歩行補助器(歩行器、杖・歩行補助杖、車椅子等)

衛生材料等の1薬局当たり取扱い品目数 と該当薬局数の関係

		セルフメディケーション サポート薬局	保険調剤 サポート薬局	総計
薬局数	0～99品目	139	259	398
	100～199品目	43	15	58
	200～299品目	15	2	17
	300品目以上	26	1	27

		全体のうちの割合	セルフメディケーション・サポート薬局の中での割合
衛生材料等を取り扱っている全体の内の割合	0品目以上	100%	100%
	100品目以上	20.4%	37.6%
	200品目以上	8.8%	18.3%
	300品目以上	5.4%	11.7%

- ◆ 保険調剤サポート薬局における取扱いの平均値は35品目、中央値20品目である。
- ◆ セルフメディケーション・サポート薬局における取扱いの平均値は123品目、中央値70品目である。

衛生材料等の1薬局当たり取扱い品目数と過去半年間の相談対応の実績の関係

